



## かしわ祭の先に

新型コロナウイルスの第7波は終息に向かっているのでしょうか。感染者の全数把握が見直され、水際対策が10月11日(火)より大幅に緩和されるとともに、全国旅行支援もスタートしました。国レベルでは、社会経済活動の活性化に大きく舵がきられています。

With コロナの学校運営も3年目を迎えました。教育課程の実施において生徒の安心・安全の確保を最優先にすべき学校では、根拠に欠く拙速な判断は避けなくてはなりません。とりわけ全校生徒が集まる学校行事は、いかにして持続可能な形式や内容としていくかが今もって懸案であり挑戦です。本校の最重点目標は「自分で考え、判断・決定する生徒」の育成ですが、かしわ祭の実施にあたり生徒はもちろん、教職員も本当に頭を使い、知恵を絞りました。

本年度のかしわ祭は、リズムコンクールを中心とした文化の部(全体が一堂に会すのを避けて一部オンライン開催)と過度な密集・密接を避けた競技・種目で構成した体育の部の二本立てでした。1学期の音楽科の授業では、感染症対策のため敢えて合唱を扱わず、リズム学習を取り上げました。そして、その学習を、体をたたいて刻むリズムの重なりで音楽を奏でるボディパーカッションの形式に集約しました。クラスごとに紡いだ音楽を表現するという点では、合唱と同じです。完成に向けたイメージや創意の共有、協働、衝突、団結……。学校ならではのクラスごとの学びが表出されました。3年生保護者にしか参観の場を提供できなかったことは残念ですが、1・2年生保護者の皆様にも見ていただけるよう、期間限定(10/21~10/30)でオンデマンド配信します。是非ご覧ください。

一方の体育の部ですが、見た目にはこれまでのものと大差なく映ったかもしれません。しかし、実施に至るまでのプロセスには本年度ならではのものがありました。どのような体育の部にするのか目標を考えるとところから始まり、そこに向かう競技・種目を編み出し、運営方法や準備・活動内容、戦術などについても「話し合い」が各所で幾度となく持たれました。各担当・係間の連携を円滑にするための調整もぬかりなく、そこには仲間とコミュニケーションを図りながら課題を解決していく姿が光っていました。さらに、そのような「過程」での学びもさることながら、当日の競技や係活動への取組も見事なまでに主体性のにじみ出たものでした。

「解決したい課題をつかむ→自分の頭で考える→相手の意見を聞き入れるとともに自分の意見を伝えながら思考を深める→最適な解決策を見出す」。この学びのプロセスは、授業でもそれ以外の場面でも同じです。生徒の喜びの多くはかしわ祭そのものにあっただけでしょうが、私たちの喜びはかしわ祭の先にある生徒の成長にあります。この後、大仁中は第4ステージ「充実」の時を迎えます。

<文責：校長>

# ☆かしわ祭 【共に挑む ～1人1人が挑戦し つなぐ自信～】

## 文化の部「リズムコンクール」

### ☆金賞：

- 3年4組「Paradise Has No Border」
- 2年2組「名探偵コナンのメインテーマ」
- 1年3組「ドラえもん」

### ☆かしわ賞：

3年4組「Paradise Has No Border」

### ☆さくら賞：

3年1組「情熱大陸のメインテーマ」

※かしわ賞・さくら賞は、生徒の投票によって決定



足も踏みならし迫力満点♪



最後の決めポーズ！



みんなで気持ちを一つに！



リズムに乗って楽しく♪

熱いご声援、ありがとうございました

## 体育の部

☆総合優勝：緑組（GR e e e e N）

☆準優勝：青組（ソーダ）



チームを率いる応援団長



3年生の力強い走りに感動！



息ぴったり！すばやく回ります



力を合わせて大玉を運びます



練習の成果を生かして…



接戦！どのチームも速くなりました

## ☆奨学生募集について

似鳥国際奨学財団による2023年度「奨学生募集」の案内がきています。希望がありましたら、11月1日（火）までに学級担任まで申し出てください。詳細についてご案内します。（エントリー後、選考審査となります。）

【概要】①支給期間：2023年4月～2024年3月（中学校卒業月まで）

②支給金額：月額3万円（給付型）

③応募資格：ひとり親家庭

④支給条件：・毎月期限内にレポート提出（テーマに沿って、A4用紙1～2枚程度。）  
・交流会への参加（年1回予定）